

Press Release

令和 7 年 2 月 4 日

地 域 交 流 部

男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営訓練が行われます

「NO ひとりぼっち!防災まちづくり~私たちができること」をテーマに
1 月 18 日(土)、26 日(日)、2 月 8 日(土)に連続講座を開催しています。

2 月 9 日(日)は交流会として、受講生が、体育館を会場に、実際に防災資機材を使って、男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営を体験します。

1 日 時 2 月 9 日(日)

13 時から 16 時まで

2 参加者 この連続講座に参加したことがある人

3 会 場 唐津市浜玉社会体育館(唐津市浜玉町浜崎 1151 番地 1)

4 講 師 小山内 世喜子(おさない せきこ)さん

(一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと代表理事)

5 内 容 誰一人取り残さない地域づくりのため、参加者が「総務・情報班」「施設管理班」など 4 班に分かれ、協力し知恵を出し合って、避難所運営(体験)に臨みます。

6 主催者等 主催:佐賀県立男女共同参画センター(アバンセ)

共催:唐津市(危機管理防災課・男女共同参画課)

(本件の問い合わせ先)

地域交流部 男女共同参画課

担当:井上

電話:直通 72-9239(内線 1651)

個人からでも！団体からでも！
参加無料
参加者募集中

令和6年度男女共同参画の視点を取り入れた防災リーダー養成講座

連続講座(全3回)+交流会

アバンセ

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

5 ジェンダー平等
11 持続可能な都市

私たちは持続可能な開発目標支援 (SDGs) をしています

30th
ANNIVERSARY
らしく、あたらしく

唐津市
シットが

NOひとりぼっち！ 防災 まちづくり 私たちができること

in
唐津市



女性や多様な視
点を入れた防災
を学びたい



安全で安心な避
難所の運営方法
を知りたい



啓発活動や災
害時に役立つ
スキルを身に
着けたい

地域には、性別や年齢、乳幼児や乳幼児を育てる家族、介護が必要な人、ケア役
割を担う人など、多様な人たちが生活しています。
この講座では、男女がともに共同しながら、誰ひとり取り残さない安全・安心な
災害に強いまちをつくるために、私たち一人ひとりができることを考えていきます。

1 地域づくり×防災 ～楽しく♪笑顔で！互近助づくり～

地域での啓発活動や災害時に役立つスキルを、自主防
災組織役員でひとり親家庭会長の講師から学びます。
誰もが楽しめる目からウロコの備えです。

日時 **1月18日(土)** 13:00-16:00

講師 柳原 志保さん (歌う防災士 しほママ)

2 男女共同参画×防災 ～その時、被災地で何が起きたのか～

被災地では、性別や立場によって被災の状況が違いまし
た。どんな問題が起きていたのかを学び、その対策につ
いて考えます。

日時 **1月26日(日)** 13:00-16:00

講師 池田 恵子さん
(静岡大学グローバル共創科学部・同防災総合センター教授
減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表)

NOぼっち
交流会

自由参加、連続講座の参加経験がある方が対象！

男女共同参画の視点による 避難所運営訓練

体育館を会場に、実際に防災資機材を
使って、避難所運営を体験します。



日時 **2月9日(日)** 13:00-16:00

講師 小山内 世喜子さん
(一般社団法人 男女共同参画地域みらいねっと 代表理事)

会場

唐津市浜玉社会体育館 (唐津市浜玉町浜崎1151番地1)

3 「学び」を「かたち」に ～防災・減災プログラムづくり～

女性や子ども、障がい者など、今までこぼれ落ちていた
声を防災に活かすために、地域の実情やニーズに合った
取り組みを考えます。

日時 **2月8日(土)** 13:00-16:00

講師 小山内 世喜子さん
(一般社団法人 男女共同参画地域みらいねっと 代表理事)

【第1、2、3回 会場】
唐津市浜玉公民館 大会議室
(唐津市浜玉町浜崎1151番地1)

【申込先・問い合わせ先】

佐賀県立男女共同参画センター (アバンセ)

TEL 0952-26-0011 FAX 0952-25-5591

E-mail danjo@avance.or.jp URL <http://www.avance.or.jp>



⇒ 詳細は、裏面をご覧ください ⇒

事前にお申込みが
必要です

NOひとりぼっち！ 防災まちづくり

対 象：地域で防災活動をされている方や関心のある方
はじめて参加される方、優先

定 員：20名程度（事前申し込み・先着順）

申 込：右の二次元コードの申込フォーム、
または裏面の申込書の必要事項を
申込先にお伝えください。



一時保育：無料、若干名（生後6か月から就学前まで）
※12/24（火）までにお問合せください。



交流会を除く連続講座（3回）全てに
参加された方に修了証を交付します。

講師プロフィール



第1回
柳原 志保さん
（歌う防災士 しほママ）

宮城県生まれ。熊本県在住のシングルマザー。熊本県防災会議委員。ベット防災サポート士。東日本大震災で避難所生活を経験後、熊本へ移住。地域おこし協力隊→婚活アドバイザーをしながら防災士として活動。熊本地震や熊本豪雨も体験する。ミュージカルの経験から、エンターテインメントを用いた講演が人気で、全国で5万人以上が受講。メディア出演も多数。スポーツ、食育、健康、子育て、婚活etcと組み合わせた防災プログラムをつくり、誰もが参加できる入口を提案。防災啓発の可能性を拡げている。



第2回
池田 恵子さん
（静岡大学グローバル共創科学部・
同防災総合センター教授）

専門分野は社会地理学。減災と男女共同参画研修推進センター（<http://gdr.org/>）共同代表。国際協力の現場を経て、2000年から静岡大学教員。多様な人々の視点に基づく防災体制づくりのための研修を行っている。避難所運営など住民向けの手引き（静岡県「みんなが共に支え助け合う防災ブック」、佐賀県立男女共同参画センター「男女共同参画の視点を取り入れた災害時避難所運営の手引き」など）、教材（京都府・京都市「きょうとみんなの防災カード」など）の作成、研修できる人を増やす養成研修に力を入れている。



第3回
避難所運営訓練
小山内 世喜子さん
（一般社団法人 男女共同参画
地域みらいねっと 代表理事）

2007年から青森県男女共同参画センターを指定管理者として運営、副館長、館長を務める。2017年から現職。東日本大震災以降「防災と男女共同参画」をテーマに防災人材育成研修やジェンダー視点を取り入れた防災教育、避難所運営訓練を市民・若年層・行政職員などのべ30,000人以上を対象に全国で実施。参加者の主体性を尊重した「誰一人取り残さない」地域づくりにも貢献。今年1月の能登半島地震以降、8回にわたって被災地六水町などの被災者支援に入り、避難所の開設、運営にも携わる。国（内閣府、文部科学省）の有識者会議委員も務める。青森市在住。

■ 参加申込書 ■

※お申込み後、5日を経過しても参加の可否について連絡がない場合は、アバンセまでご連絡ください。
※お申込みの際に収集した個人情報は、本事業の目的以外で使用することはありません。

（ふりがな）
氏 名

お電話

所属団体(グループ)が
ある場合
名称・主な活動

メールアドレス

ご住所

〒

（交流会のご案内・一時保育の書類
等をお送りします。）

一時保育(12/24㍲)
（生後6か月から就学前まで）

不要

申込（右欄も記入）

お子さんの名前（ふりがな）・年齢

（ 歳 か月）

お子さんの名前（ふりがな）・年齢

（ 歳 か月）

①「参加動機」や②「災害にあった経験の有無・いつ・どこで」③「災害を支援した経験の有無・いつ・どこで」④「防災の経験（自宅内でもOK）の有無・どんな」などを教えてください。（書き方の例：①団体の活動の参考にしたい②無③有・佐賀豪雨・大町④家具の固定、非常持ち出し袋の準備など）

【申込先・問い合わせ先】

佐賀県立男女共同参画センター（アバンセ）

TEL 0952-26-0011 FAX 0952-25-5591

E-mail danjo@avance.or.jp

URL <http://www.avance.or.jp> 〒840-0815 佐賀市天神三丁目2-11

佐賀県立男女共同参画センターの事業は、佐賀県からの委託を受けて（公財）佐賀県女性と生涯学習財団が実施します。
天候や感染症の流行等によっては、講座を中止または変更する場合があります。